

SKY コーナー

第51回 東海安全推進大会

一心に響け
『立ち止まる勇気&基本動作の重要性』

情報通信エンジニアリング協会 東海支部

1. はじめに

情報通信エンジニアリング協会東海支部東海安全推進大会は、参加した方がすぐに現場で役立てていただけるよう、十数年余り前の第34回から「参加者全員の危険体感実施による現場力の向上」をテーマに実施してきました。さらに、2017年第47回以降は、NTT西日本（東海エリア）様との共催で開催しています。

今大会も、新型コロナウイルス感染予防のため、残念ながら「参加者全員の危険体感」は実施できず、前大会と同様、オンラインでの実施としました。

大会当日は、NTT西日本東海エリアの各支店様、NTTフィールドテクノ様の各社員およびITEA東海支部会員会社の社員等合計約700名以上にオンラインで参加していただき、ニューノーマルな安全推進大会

として有意義に実施することができました（写真1・2）。

以下に第51回東海安全推進大会の概要について紹介します（表1）。

2. 「運営面」と「コンテンツ面」における今大会のポイント

今大会も前大会同様、オンラインによるリモート開催としましたが「運営面」として以下の2つをポイントに実施しました。

1点目は、NTT西日本東海支店長様および設備部長様並びにITEA東海支部の支部長および副支部長の合計4名がソーシャルディスタンスを確保した会議室に集合し、他のNTT西日本グループ様およびITEA東海支部会員各社の参加者は、県域各エリアの事業所等にて参加することとしました（写真3）。

2点目は、当日業務の都合でリモート参加できなかった社員に対し

ては、大会終了後、安全推進大会の様様をオンラインで視聴できる環境を整え、全社員が今大会に参加できる仕組みとしました（図1）。

次に「コンテンツ面」では以下の3つのポイントで実施しました。

まず第一に、NTT西日本エリアにおける重大人身事故の発生をきっかけとしてNTT西日本 岸本常務様が「非常事態宣言」を発出されたことを受け、NTT西日本東海支店 鈴木設備部長様が「非常事態宣言を受けて～安全への取り組み～」と題してのご説明を行いました。

2点目は、鈴木部長様の講話を受け、転落事故等における一次処置の重要性およびその処置方法についてのビデオ視聴を行いました。また、事故が発生してから救急隊が到着するまでの時間の適切な一次処置を習得するためのビデオも上映しました。

3点目は、「安全講話」として、日本コンクリート工業(株)の濱中様よ



写真1 ニューノーマル安全推進大会



写真2 司会者
(NTTフィールドテクノ名古屋設備部 社員)



写真3 リアル参加した幹部

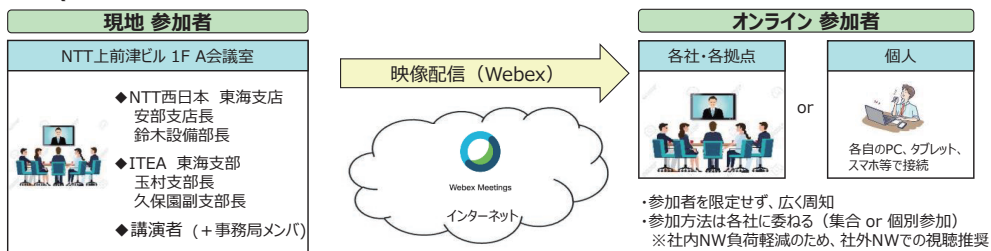
表1 第51回東海安全推進大会の概要

日 時	項 目	
11/5 (金)	10:00～10:10 開会式	<ul style="list-style-type: none"> NTT西日本 東海支店 安部支店長挨拶 情報通信エンジニアリング協会 東海支部 玉村支部長挨拶
	10:10～10:20 非常事態宣言を受けて	<ul style="list-style-type: none"> 非常事態宣言を受けて～安全への取り組み～ (NTT西日本 東海支店 設備部) (最近の全国及び東海での発生している事故状況を踏まえた対策 等)
	10:20～10:40 安全映像	<ul style="list-style-type: none"> 転落事故発生直後の、一次処置の重要性に焦点を当てた内容 (的確な一次処置を実施することで、重症化を防ぐ)
	10:40～11:40 安全講演	<ul style="list-style-type: none"> 講演者 : 日本コンクリート工業(株) 濱中 弘次 氏 講演テーマ: うっかりミスは、なぜ起きる。<ヒューマンエラー>
	11:40～11:45 閉会式	<ul style="list-style-type: none"> 情報通信エンジニアリング協会 東海支部 久保園副支部長挨拶
	11:45～11:55 安全唱和	<ul style="list-style-type: none"> 安全唱和 (全社員)
後日配信	ツール紹介	安全関連ツール (器具・工具) 及びVE提案の紹介

- (1) 当日のオンライン参加者：Webexで配信
- (2) 当日参加できない方：オンラインストレージを活用した配信 (参加方法は別途周知)

開催方法

(1) 当日(11月5日)の配信方法 (配信先：NTTグループ、ITEA会員会社)



(2) 当日参加できない方への後日の展開方法 (配信先：NTTグループ、ITEA会員会社、展示参加メーカー)

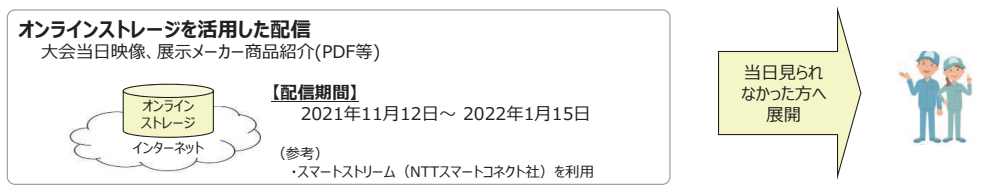


図1 リモート開催のイメージ

り自身の経験をもとに、人間の誤解と錯覚、ヒューマンエラーへの対策等々、安全作業の実施に関する盛り沢山の教訓となるご講演をいただきました。

3. NTT西日本 取締役 東海支店 安部支店長様 へ挨拶

冒頭、東海エリアを代表して、東海支店 安部支店長様より以下のご挨拶をいただきました。「昨年引き続き、安全を共に考える機会として本大会をITEA東海支部様と共同

開催できたことを心より感謝します。新型コロナウイルスの感染が未だ予断を許さない中ではございますが、NTT関連工事および保守協業に際しまして多大なるご協力をいただいている皆様に、この場をお借りしてお礼申し上げます。夏には、2020東京オリンピック・パラリン

ピックが開催されました。約2年にわたって準備をいただいた皆様、そして当該大会の期間中、特別保守体制をつくりながらしっかりと通信の保守をしていただいた皆様、本当にありがとうございました。また、今年度も例年通り、災害の甚大化がさまざまな場所で発生しました。熱海もそうです。九州もそうでした。通信建設会社の皆様には東海エリアのみならず、広域支援を行っていただき、しっかりと役割を果たしていただき、本当にありがとうございました。

一方で、工事等における「基本動作の徹底」「ルールどおりに実行する」ということ、また、「安心・安全・信頼という取り組み」、これは欠かせないものだと思っています。ここ数カ月の間でも、東海の管内で残念な事故が発生しています。「コミュニケーションの不足」ということも課題に挙げられるのではないかと思います。また、万が一事故が起こってしまった場合でも的確に一次処置を行うことで、重症化を防ぐことができると考えております。本日の安全推進大会では、まず基本動作を徹底すること、そして事故発生直後の一次処置をどうしていくのか、に重点を置いた大会にしていきたいと思っております。西日本統一の安全スローガンにもありますが、過去の事故を絶対に風化させてはいけません。これに基づいてまた新しい事故が起きないように、NTTグループ、情報通信エンジニアリング協会様、通信建設会社様が「丸」となって事故防止に取り組んでいきたいと思っております。

安全無くして、我々の事業は成り立ちません。本日は「安全第一で事業を運営していく」を意識合わせさせていただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。」(写真4)



写真4 NTT西日本東海支店
安部支店長様 ご挨拶



写真5 ITEA東海支部
玉村支部長 挨拶

4. ITEA東海支部 玉村支部長 ご挨拶

引き続き、情報通信エンジニアリング協会 東海支部 玉村支部長から以下のご挨拶がありました。

「新型コロナウイルスは理由はわからないのですが、劇的に感染者数が減って、沈静化しています。そして、本日、秋晴れの中、本当はリアルで行いたいのですが、安全第一ということでオンライン開催とさせていただきました。

NTT西日本グループの皆様方とこのように安全大会が開催されることに感謝申し上げます。また、NTT西日本グループ様およびITEA東海支部の会員各社の皆様には、昨年度から新型コロナウイルスが蔓延する中、現場第一線でご活躍していただいたことに感謝を申し上げたいと思っております。

さて、全国の人身事故の状況ですが、現在のところ最悪に近いペースで事故が発生しており、NTT西日本様からも「非常事態宣言」が発出されました。東海支部管内においても重大人身事故2件を発生させてしまいました。1件は開通工事におけるバケット車からの転落死亡事故、もう1件はサービスオーダ工事における屋根上からの転落事故です。従来から会員各社の皆様方には安全に

ついては十分配慮していただくようお願いしているところですが、今一度KYの確実な実施、少しでも迷った場合には立ち止まって考える、などの基本動作の徹底をお願いしたいと思います。安全より優先される業務はありません。以前から安全推進大会でお願いしていますが、「自分だけは大丈夫」「今までの作業で事故を起こしたことはない」という思い込みはやめていただきたいと思っております。事故を起こした方の多くは、大きな事故を起こすまでは事故を起こしたことがない方ばかりです。今まで事故がなかった、ということは今後も事故は発生しない、という証明にはなりません。

さて、私たち通信建設会社は、単に、通信設備、通信インフラの建設・保守を行うところから、高い技術力をベースとした設計から保守運用まで、さらにはお客様のICT化をサポートする高い技術力をベースとしたサービス会社へ変わろうとしています。安全推進活動と同様、この活動にも完璧や終わりなどはありません。作業員1人ひとりがお客様視点に立ってより良い工事・保守に努めNTT様のベストパートナーになれるよう皆で頑張っていこうではありませんか。

最後になりますが、NTT西日本の皆様からも引き続きご指導、ご鞭

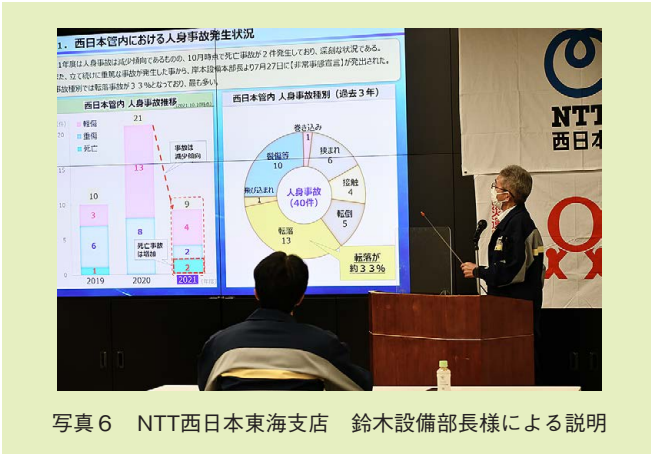


写真6 NTT西日本東海支店 鈴木設備部長様による説明



写真7 安全映像(1)

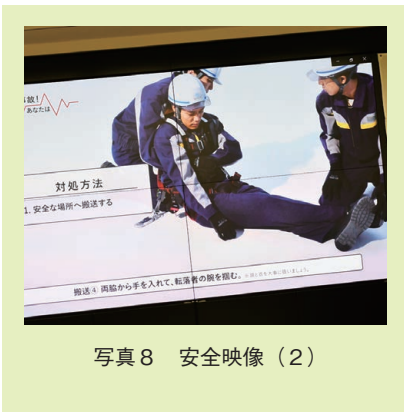


写真8 安全映像(2)



写真9 安全講話(1)
(日本コンクリート(株) 濱中様)



写真10 安全講話(2)

撻をお願い申し上げますとともに本日の開催に当たりましてご尽力いただいた関係者の皆様に感謝を申し上げます。」(写真5)

5. 提供コンテンツ

■非常事態宣言を受けて(鈴木設備部長様)

西日本管内および東海管内における転落事故の発生比率は高く、①高所作業三原則の徹底、②確実な2WAY確認の実施、③作業に不安を感じたら「やめる勇気」を持つ、という基本動作を徹底することが重要であるとのこと説明がありました。さらに、より効果的な対話型安全パトロールについてもご説明いただきました(写真6)。

■転落事故発生時の対処方法(安全

映像)

転落事故等において、救急隊員が到着するまでの初動処置が救命のカギを握るといった観点から、具体的に①安全な場所への搬送の具体的方法、②意識の有無、呼吸の有無、出血の有無等による具体的処置方法を解説する映像を視聴しました。従来このような応急処置を解説した映像を視聴する機会はあまりないことから、参加者から非常に好評でした(写真7・8)。

■安全講話

日本コンクリート工業(株)の濱中様により「うっかりミスはなぜ起きる ~ヒューマンエラー~」と題してご講演をいただきました。安全の追求に当たっては、基本動作の徹底、段取りが重要であり、その原点は対話であること、対話に当たって

は社員と目線をあわせることが重要。企業が考える安全は「健康な身体で入社し、健康な身体で家庭に返す」こと、プロとは「見えないものが見え、聞こえないものが聞こえる」等、ご自身の経験談を交えて講演いただき、非常に興味深く聞くことができました(写真9・10)。

■展示メーカー各社様による安全ツール(器具・工具)等の紹介および各通信建設会社によるVE提案の紹介

NTTグループ1社、通信建設会社5社、展示メーカー29社のご協力によりオンラインで視聴することができました。

6. おわりに

今年の大会は、新型コロナウイルス



写真11 東海支部 久保園副支部長
による閉会挨拶



写真12 安全唱和 (NTTフィールドテクノ名古屋設備部 社員)

スの影響で、前大会と同様オンライン形式で行われましたが、最後は、情報通信エンジニアリング協会 東海支部 久保園副支部長の閉会の挨拶 (写真11)、引き続き、NTTフィールドテクノ名古屋設備部の若手社員様のリードによる安全唱和を実施し、安全推進大会を終了しました (写真12)。

スタッフ全員の努力の甲斐あって、アンケートの結果も70%近くの方が「満足」と回答しており、屋外での全員体感の安全推進大会ほどには及びませんでした。大変好評を得ることができました。

なお、当日の様子は2021年11月12日 (金) から2022年1月15日 (土) までオンラインで視聴が可能

となり、NTT西日本東海エリア各支店様、グループ会社様、ITEA東海支部の通信建設会社および展示メーカー様も視聴できるようにしました。

最後に今大会の準備・運営にご協力賜りました関係各位の皆様へ感謝申し上げます。